

## 会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 3-08	令和元年度第2回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	令和元年5月24日(金) 午後6時30分から午後8時10分まで			
開催場所	墨田区役所8階 82会議室			
出席者数	<b>【委員9人】</b> 阿久沢副会長、碓氷委員、宇田川会長、笠貫委員、小木曾委員、佐原委員、橋本委員、土屋副会長、森下委員 <b>【事務局3人】</b> 環境保全課環境管理担当主査、緑化推進担当主査及び職員			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	墨田区緑と生物の現況調査について			
配付資料	資料1 平成30年度墨田区緑と生物の現況調査報告について 資料2 墨田区緑と生物の現況調査報告書 資料3 墨田区緑と生物の現況調査報告書 - 概要版 - 資料4 「第二次墨田区緑の基本計画」の策定について 資料5 第二次墨田区緑の基本計画策定スケジュール 資料6 第二次墨田区緑の基本計画策定庁内検討委員会設置要綱			
会議概要	1 会長あいさつ 宇田川会長より開会のあいさつがあった。 2 墨田区緑と生物の現況調査について 平成30年度に実施した緑と生物の現況調査結果の最終報告について、事務局から説明し、その後質疑応答を行った。 3. 意見交換等における主な意見 ( :委員発言 :事務局発言 ) 環境を測定するにあたっては水質の問題、水質汚染の問題も調べてみればよいと思う。			

水質については他の機関が定期的に調べているデータが探せばあると思うので、その辺を踏まえながら、今後検証していきたい。

先ほど百花園でも水生生物が増えたという報告があったが、百花園ではニシキゴイを撤去した。東京都から、立派な池には鯉が必要だと言われてニシキゴイを入れたが、生物層が乏しくなったため、そしたらかなり生物が豊かになり、鳥も多くなってきた。それから、百花園の中でもずいぶん木が減っている。というのは、学識経験者が公園は見通しがよくなければいけないということで、かなり木を抜いて見通しをよくした。百花園というのは狭いため、隣のブロックが見えないように、迷路みたいに、あえてしてあった。山野草は日陰の植物だから、見通しがよくなった分だけ、草もかなりダメージを受けた。また、土壌の栄養が乏しいという結果からかなり栄養豊かにしてくれたが、そのために、かなり山野草系が壊滅的なダメージを受けてしまった。

確かに公園は、見通しをよくしてっていうので結構伐採している。樹木の手入れ、メンテナンスが十分に行き届いていない部分もあると思う。だから、公園をどうやって保っていくか、守っていくかってことも考えないと。

百花園も植替えをした。ちょうど戦後、慌てて植えた外来種系の木があったのでそれをかなり抜いて、在来種系の樹木に替えてきた。また、隣近所から日当たりが悪いかから切って欲しいと言われて切ってきた。たぶん街路樹も、そういう、日当たりが悪いかとかというクレームによって切られたものがあるんじゃないかと思う。これは、数字だけ見てたら絶対にわからない。その辺もお調べいただいた方がいいと思う。

葉っぱが茂るのは困る。でも、今の時期みたいにこんなかんかん照りだと大きな道路に葉っぱが茂っている木が少なくなったから、隠れて歩くところがなくなってしまいました。そういうことも住民と一緒に考えていなくちゃいけない。

マンションなんか建つと、風が変わる。うちの前の樹木が倒れた。国道なんかで高い街路樹が倒れたら大惨事になる。あと、樹木が植わっていたところを利用して家庭菜園やってるようなところも多いけれど、そこを解放したらいかがか。緑被率については、23区で最下位でもよいと思っている。緑を増やすには住宅地と書いてある。住宅地に増やしたいところだけど、墨田には大きなお屋敷が少ない。そういうことを提言の中に入れておくべきではないか。住宅に増やすというのは立派だけど、普通は

50坪もない。20坪で建蔽率80%。そういう状況下の中で無理ではないか。それに、今は道路が広がっている。建物を壊して、そしたらまたなくなる。屋上緑化は我々には見えない。屋上緑化も壁面緑化も素人がやれば、雨漏りの原因になる。墨田区はよく道路上に緑がいっぱいある。豊かさとは何かということを考えれば良いのではないかと思う。

うちの近所も古いうちを壊して、建売がたくさんできたけれどゆとりがない。前が空いていないから緑がない。

3点ほど教えてほしい。みどり率で、ピオトープはどうなっているのかということについて。あと、緑視率は25パーセント以上が理想だということで、墨田区26か所のうち7か所しか25パーセントを超えるところがないということだが、10年前にも緑視率のことをうたっているにもかかわらず、10年たって逆に減っているということと対策はどうなっているのか。あと、もう一つ、水生生物の調査について、調査対象地区として、隅田川と竪川が入っていないが、これはなぜか。

みどり率にピオトープが入っているか否かについては、後日確認する。また、緑視率が減った対策についてということだが、これからの計画策定の中で考えていきたいと思う。減った理由というのは報告書に記載がある。

区で補助金を出して、まちなか緑化を行っているが、着実にやってくれるところに補助金を出さずというのが筋と思う。そのところ行政がどう考えているか。

この調査は前の調査と比較するという意味もあるので、前回調査と同じ場所を行ったというのが一つ。将来的には増やしていければよいと思っている。

先ほど、スカイツリーの屋上緑化が増えたという話があったが、実は屋上緑化の一番の問題点は屋上に水道栓がないということ。それに関する助言とか全くない。面積だけ求めているという現実があるのではないか。スカイツリーは雨水をためて使っていることをもっと強調してもよいのではないか。

現行の緑の基本計画の目標達成率について、どうしてこのような結果なのかを詳しく知りたい。そうでなければ、目標を次にどう設定したらよいかということに係わってくるので、フィードバックしたほうがよいと思う。1人や2人のクレームによって木を切ることがあると思うが、それは区全体の意見ではない。それをどうとらえるか。

	<p>区のほうにクレームをすればすぐ対応してくれるが、こういう会議の中で、こうすべきじゃないか、という検討の内容には、なかなか対応してくれない。この道路はこういう風にしてそのためにこうしているという理念のようなものがないのではないかと思う。</p> <p>都市計画で考えられているわけだから、本来ならあるべき。</p> <p>環境には、高木化という理念がある。途中見直して低木化という形になっている。</p> <p>低木がよいか悪いかでなくて、墨田区はどのような環境がよいのか悪いのかということではないのか。</p> <p>どのようにすればそれが達成していくか、目標を保っていけるのか、ということも区としても考えていただきたい。</p>
<p>所 管 課</p>	<p>都市整備部 環境担当 環境保全課 緑化推進担当 内線5464</p>